

【初任者研修(県立学校)における地区研修について】

1 目的

各地区における研修の実施を通して、地区の県立学校における教育活動の実践について理解し、日々の授業や教育活動にいかし、幅広い視野をもって課題を解決する力の向上を目的とする。

2 研修の組立て

県立学校長会議地区別会議と総合教育センターが連携して研修プログラムを構築する。

* 県立学校長会議地区別会議を通じて、初任者所属校へ開催要項を配付する。

3 研修の形態

集合研修を基本とする。状況に応じて、机上研修やオンライン研修等、他の形態での実施を検討する。

4 地区研修の事例

- ・地区内の県立学校の特色のある教育活動について
- ・教科の枠にとらわれない教育課題について
- ・学級・ホームルーム経営や児童・生徒指導の実践について
- ・地域の実態をいかした学校運営、地域との協働について
- ・研究協議会 等

5 地区研修の対象校

県立学校(高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)

* 地区は川崎、横浜北、横浜中、横浜南、横須賀三浦、鎌倉湘南、県央、平塚秦野、相模原、県西の10地区とする。

6 地区研修の実施時期と時程

- ・実施時期は、原則として7～8月の夏季休業期間とする。(各県立学校、各地区の実態に応じて対応する。)
- ・受講者は、所属地区で実施する地区研修に参加する。やむを得ない事由により欠席する場合は、代替研修を受講する。
- ・1日の研修時間は、半日程度(3時間以上)とする。

7 地区研修終了後

初任者所属校の校長は、「地区研修レポート」(参考様式3)を令和6年2月29日(木)までに地区研修担当校長宛てに送付する。

(裏面に続く)

【県立学校の地区研修実施の流れ】(集合研修の例)

日時・会場	形態・時間	内 容	講 師
○月○日 (○) ○○ 高等学校	オリエンテーション (10分)	本日の研修について	担当指導主事
	講 話 (60~90分)	「初任者に望むこと」	地区の校長
	講 義 (30~60分)	「他校の教育活動に学ぶ」 (教科指導の具体・進路指導・生徒指導・部活動 等)	地区の県立学校教員 (管理職・総括教諭 等)
	協 議 (45~60分)	「現在の課題と展望」 等	会場校担当者・担当指導主事 等
	まとめ (10分)	事務連絡	担当指導主事

- ※ 実線で囲まれた部分(オリエンテーション、講話、まとめ)は、プログラムに入れてください。
- ※ 時間は目安です。
- ※ 当日の部活動等を見学することも可能です。
- ※ 「地区研修レポート」の作成を内容に含めることも可能です。

令和5年5月上旬(予定)に「基本研修」のページに各地区研修の日程、会場を掲載します。